

働く仲間はたたかうN関労に結集しよう!!

LALUZ

2011年11月1日(火) No. 76

N関労 西日本NTT関連労働組合

発行責任者 兼廣 英治

事務所：尼崎市武庫町 1-36-22 NTT 武庫之荘別館 3F

Tel. 090-8979-5088 Fax. 06-6436-4076

Eメール: takara-kanet@kobe.email.ne.jp

http://www.n-kanrou.com/

高山さんが裁判で闘うことを決意

会社に誠意見られず、要望をもてあそぶ

乳がんの妻を地元へ残したまま大阪へ強制配転になった高山さんを地元へ帰すため、9月28日に開催した第1回執行委員会の場で裁判で争うことを決定した。

7月11日の団体交渉の場で会社は「個人事情は上長へ挙げてほしい」としたが、上長へ要望書を提出した後も進展はまったく見られなかった。それどころか「診断書を提出してほしい」と要望書の回答指定日に言い出す始末。会社が真剣に高山さんのことを考えていないことが明らかになった以上、裁判で争うしかないと判断した。

森顧問弁護士の協力のもと10月21日には訴状を郵送。すでに裁判所は12月2日の第1回公判の開催を打診してきている。

今後は高山さん本人はもとより、森顧問弁護士、N関労が一体となり闘いを進めていくことになるが、皆様にも多大なるご支援をお願いしたい。

労働相談やってます!!

一人で悩まずにご相談下さい。

メールの方は・・・

Takara-kanet@kobe.email.ne.jp (兼広)

電話の方は・・・

090-1070-6839 (横林)

家族をまもるため裁判へ

情報システム体系化センタ 高山賢輔

妻は乳がんの摘出手術、放射線治療等を終えてまだ2年半も経過していません。日々、癌の転移・再発の不安を抱えて暮らしています。更に「うつ病」を抱えたままギリギリの健康状態で辛うじて就業している長男。なによりも認知症の症状が出てきている高齢の母親には心配を掛けたくありません。

会社に対して配転後の家族の現状を訴えて来ましたが、散々待たされた挙句、会社の回答は「三人の診断書を提出して下さい」の一言。病院や施設に入る状況に成らなければ会社は何の配慮もしないのでしょか。因みに熊本から大阪への配転時には診断書のことなどおくびにも出ませんでした。

生活する為に働いている会社から生活を壊されるには堪りません。西日本電信電話株式会社が私に対して4月1日に発令した「情報システム体系化センタ」への遠隔地配転の違法性を訴える「訴状」を10月21日に大阪地裁に郵送しました。

家族をまもるために1日でも早く地元・熊本へ帰るための最後の方法です。皆様のご支援を宜しくお願いします。

多様化する闘い、組織拡大を再確認

去る9月10日、尼崎市において当労働組合の第10回定期大会が開催された。

大会は神戸市から福岡センタへ単身赴任を強いられている高田君を議長に選出。まず、はじめに兼廣委員長が「この1年間、最重要課題として組織拡大に取り組んだが2名の拡大に終わった。闘いが多様化している中、組織拡大は喫緊の課題。今後も取り組みを進めていこう」と挨拶。

多くの来賓にお出でいただいたが、通信労組から挨拶に見えられた兵庫センタ分会長の多胡さんからは「通信労組では本日、東京で全国大会を開催している。東日本大震災後の復興に向けて大增税が課せられようとしているが、大企業の内部留保の充当で十分。また、人の輪で関電を取り囲むなど、原発“0”を目指して闘って行く。兵庫センタ2階で営業支援担当が新設されたが、健康の問題などで長期出張に出られない人もいる。職場の中でも連帯し、ともに闘おう」と連帯の挨拶をいただいた。

議論では、代議員全員が発言するなど、熱気を帯びたものになった。中でも、熊本から大阪へ強制配転となった高山さんは「7月11日の団体交渉を受けて、8月26日に地元へ帰すよう、要望書を上長へ提出した。昨日（9月9日）が回答日だったが、会社は回答どころか『家族の診断書を提出してほしい』と言ってきた。そんなことなら回答日より以前に言えるはずだ。それに熊本から大阪へ飛ばすときには診断書のことなど誰も言わなかった」と会社の不真面目な態度に半ばあきれていた。

また、ハイホン中国・鳥取事業部でFAX誤送信を起こした池田さんは「先日、訓告処分が出された。会社は団体交渉後の8月10日にシステム



上、回線ID・パスワードの閲覧ができる者を主査に限定してきた。一定の改善は見られるが、回線ID・パスワードの販売店へのFAX送信については『原則は送ってはならないが運用では良い』という会社の曖昧な姿勢により主査に負担がかかっている」とし、職場の悩みが報告された。

大会は各種議案を採択し、兼廣委員長の団結がんばろう三唱で終わったが、来賓として見えられた天六ユニオン書記長の梅川さんからは「少数組合の大会ではなかなか意見が出ない。それに比べるとN関労は・・・いい勉強になった」との感想が。大会は成功だが、その真価は今後の闘いにかかっている。

次期、役員は以下の通り・・・

執行委員長	兼廣 英治
副委員長	吉川 雅雄
書記長	那須 弘美
書記次長	富永 隆之
執行委員	高山 賢輔
同	加納 功
同	横林 賢二
会計監査	池田 和則
特別執行委員	佐野 修吉
同	島本 保徳